

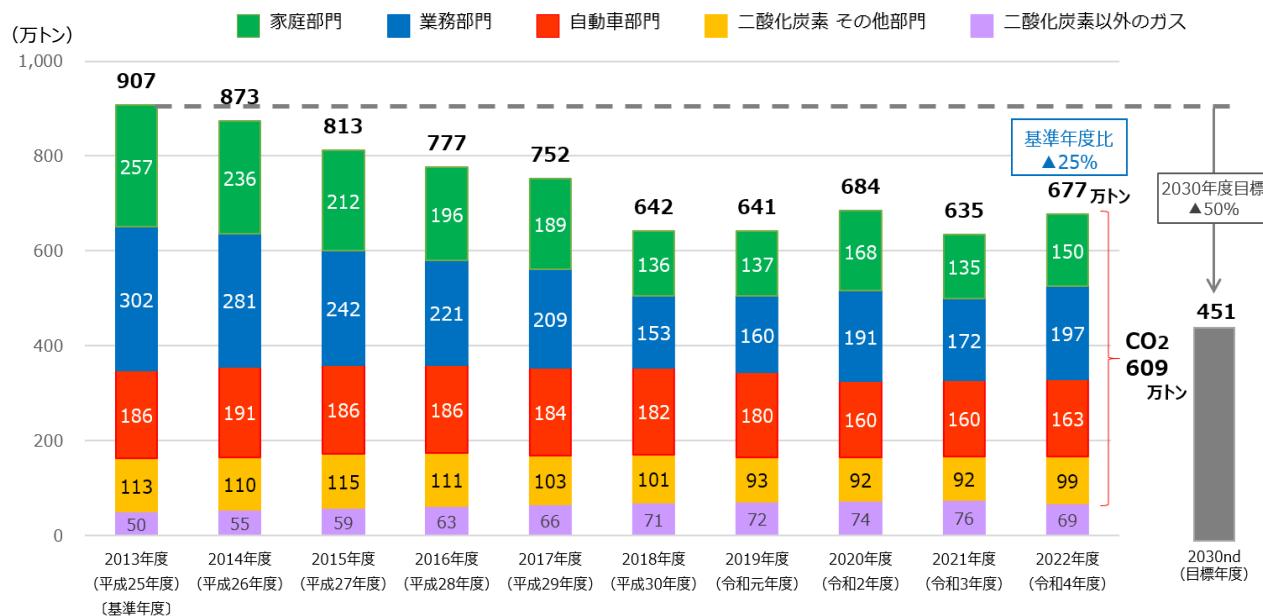
## 環境の状況

### IV 地球温暖化対策・エネルギーに 関するデータ

## 1 福岡市域における温室効果ガス排出量等の状況

### (1) 温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）の推移

福岡市域の2022（令和4）年度における温室効果ガス排出量は、677万トンと推計しており、福岡市地球温暖化対策実行計画の基準年度である2013（平成25）年度と比べ、25%減少しています。



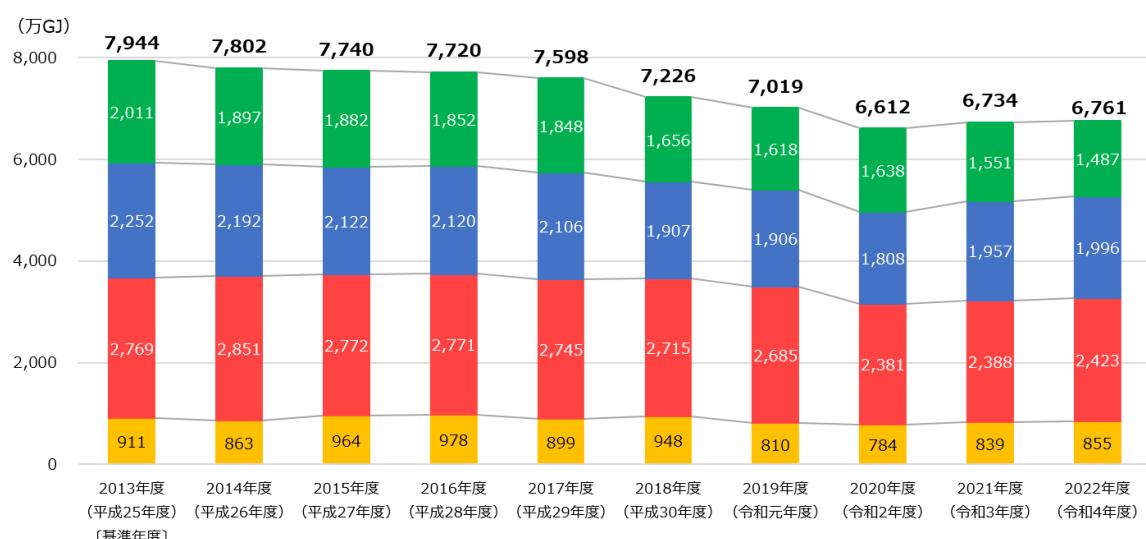
(参考)電気のCO2排出係数 環境省公表「電気事業者別排出係数」の九州電力株の値



※電気のCO2排出係数の増加(0.382 → 0.462)要因(九州電力株ホームページより抜粋)

2022年度は、原子力発電所の定期検査の長期化による停止の影響で、販売電力量全体に占める火力発電電力量の割合が増加したことから、前年度に比べCO2排出係数が増加しました。

### (2) 福岡市域におけるエネルギー消費量等の推移



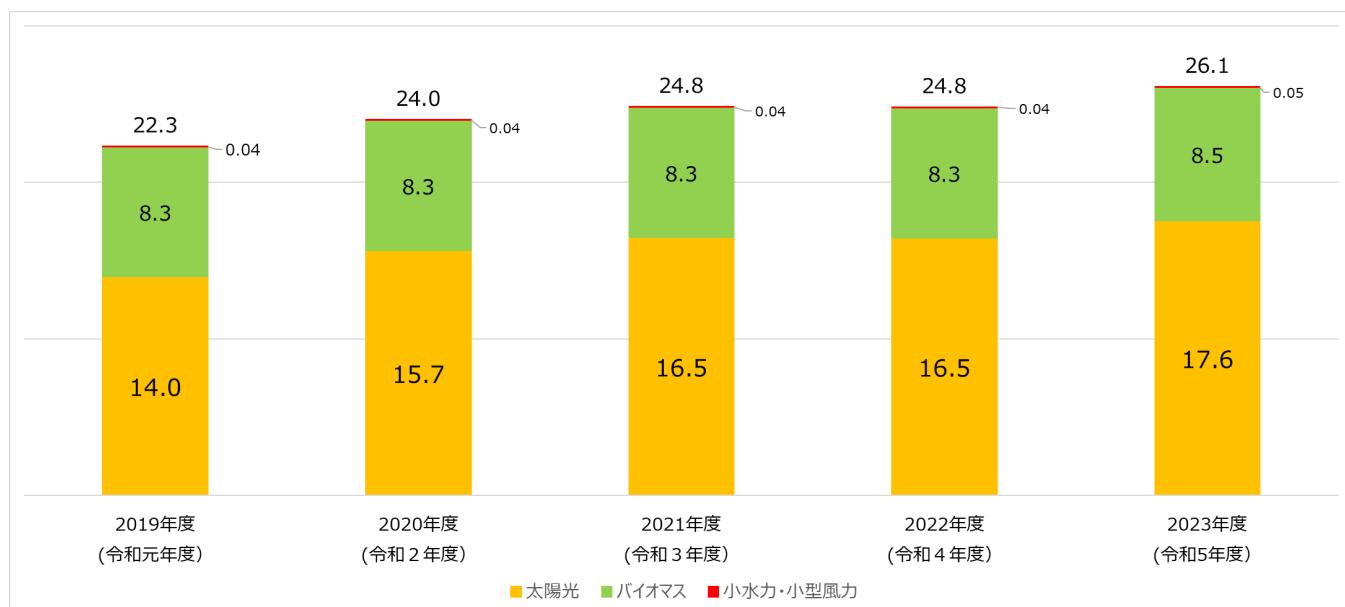
※四捨五入の関係のため、消費量の内訳と総量が一致しない場合がある

※その他:産業部門(農林水産業、建設鉱業、製造業)、運輸部門(鉄道、船舶)、エネルギー転換部門(熱供給事業)

	2013年度 (平成25年度) [基準年度]	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	令和2年度 (2030年度)
1世帯あたりの エネルギー消費量 (GJ/世帯)	27.8	25.8	25.2	24.4	23.9	21.0	20.2	20.1	18.8	17.7	15.8
業務系建物床面積あたりの エネルギー消費量 (GJ/m <sup>2</sup> )	0.94	0.91	0.88	0.88	0.87	0.78	0.78	0.73	0.79	0.80	0.65

## 2 福岡市域の再生可能エネルギー導入状況 (グラフの単位は万 kW)

令和5年度における福岡市内での再生可能エネルギーによる発電規模は、26.1万kWと前年度と比べ約1万3千kW増加しています。



## 3 市役所業務にかかるエネルギー起源二酸化炭素排出量の状況

市役所業務にかかる2023(令和5)年度のエネルギー起源二酸化炭素排出量は、11.0万トンであり、福岡市役所地球温暖化対策率先実行計画の基準年度である2013(平成25)年度と比べ、55%減少しています。

(万t-CO<sub>2</sub>)

